



日本聖公会
大阪教区総務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
総務局長 司祭 内田 望

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第480号 2020年11月22日発行

主を待ち望むアドベント、
最初のろうそく
ともそう。
主が道をそなえられた
この時を守ろう。
主の民と、喜べ。
主は近い
〔讃美歌21〕242番 1番

イースターがキリスト教最
古の祭りであるのに対して、
クリスマスが、祝日として制



主を待ち望むアドベント

司祭 シモン 原田 佳城

まだキリスト教がローマ帝国
内で公認されていない時代に
さかのぼることが出来ます。
冬至に合わせた古代ローマ帝
国の「不滅の太陽の祭り」に
対して、キリスト教徒が、同
じ日を「義の太陽の祭り」と
して祝ったのが起源と言われ
ています。「不滅の太陽の祭
り」はローマの皇帝を礼拝す
るものであったのに対し、キ
リスト教会は同じ日に「義の

いう終末信仰において祝いま
した。そして、クリスマスに
先立つ一か月を降臨節（アド
ベント）として定めたのです。
アドベントは大齋節（レント）
と共に「悔い改めて再び待ち
望みつつ過ごす」という意味
を持っています。クリスマス
を信仰生活の上で本当の喜び
の日とするためにも、アドベ
ントから顕現日までの期間を
大切に過ごしたいと思えます。

定されたのはかなり後のこと
で、キリスト教がローマ帝国
で公認された紀元4世紀に入
ってからのことです。イース
ターやペンテコステがユダヤ
教の暦に基づいて定められて
いるのに対し、クリスマスだ
けは大陽暦で12月25日と定ま
っています。そのことから
クリスマスがローマ文化の影
響を受けた祭りであることが
わかります。

しかしクリスマスの起源は、
「再び来てくだ
さるキリストを待ち望む」と

主を待ち望むアドベント、
最後のろうそく
ともそう。
主はこの世に
来たりたもう。
心をこめ、歌おう
主の民よ、喜べ。
主は近い
242番 4番

（はらだ・よしき
大阪聖パウロ教会牧師）

日本聖公会
第65（定期）総会
司祭 ジョイ 千松 清美

26の議案を審議
首座主教にルカ武藤謙一主教
を選出

日本聖公会第65（定期）総
会が10月27日（火）～29日
（木）、管区事務所3階会議室
を書記局本部とし、各教区事
務所を会場にオンライン（Z
OOM）を利用して開かれた。
今会議はコロナ感染予防のた
め6月開催が延期され、密を
避けるためオンラインによる
会議となった。大阪教区から
は、磯崎久主教、千松清美司
祭、柳時京司祭、太田幸彦さ
ん、鈴木光子さんが出席し、
補助書記を古澤秀利司祭が担
当した。諸報告に続き、26の
議案を審議し、首座主教の選
挙では九州教区武藤謙一主教
が選ばれた。今総会で可決さ
れた主な議案は以下の通り。
・石橋聖トマス教会を日本聖
公会大阪教区に合併するこ
とを承認。

・「聖書 聖書協会共同訳」
2 ページ下段に続く

私は1995年5月27日、ソウル教区の設立記念日に司祭に按手されました。当時ソウル大聖堂は拡張工事の最中だったので、やむなく別の場所で行ったことになりました。その結果、聖公会大の校庭に仮の祭壇を設け、いわゆるグラウンド按手式として行われたので、今まで史上初のものと言われています。

前日から緊張が続き、当日の朝から汗ばむところ、いよいよ按手式が始まりました。推薦の後、仮祭壇の前に敷かれた板の上に、仲間と一緒にうつ伏せになりました。その時、2千人を超す参礼者全員で捧げる連禱（リタニー）のうねりを聴きながら全身が戦慄したことを、今も生々しく憶えています。

大韓聖公会は、その前年の1994年の秋に、世界聖公会の新しい管区として認められたので、当日の按手は管区昇格後の第一号でもありました。そして、世界聖公会の宣

新聖職リレーエッセー ⑦



「5指標と聖職按手」

司祭 ステパノ 柳 時京

宣教の5指標とともに、毎年、按手記念日を迎える度に、按手式の際の諸祈禱を再び読み直しながら初心に戻るように心がけています。

（ゆ・しぎよん 川口基督教
会牧師）

* 次回は、義平雅夫司祭にお
願いします。

教の5指標が盛んに紹介され始めました。最初は、うまくまとまった5つの項目の内容から新たに学ばせた感じでした。神学校で学んだ教会の宣教について、核心をついたものと捉えていたのです。

按手式の緊張が解けて、我に戻ってから、ある日ふと気づきました。実は、司祭按手の際に捧げる祈りの中に、もう既に宣教の5指標が記されているということでした。分かりやすく項目にはなっていないが、表現の違いはあるものの、より幅広く宣教の働き手として按手され遣わされるのが祈られていたのです。

自助グループの会場閉鎖による影響

③ NAナルティグループ

いつも、私たち自助グループへ会場提供をいただきありがとうございます。NA（薬物依存の自助グループ）のM子です。（私たちはグループの性格上、匿名を名乗ることになっていきます。）関西のNAは1986年に毎週、十三の聖贖主教会の一室をお借りしてスタートしました。現在では、関西地区で毎週64箇所のNAミーティングが開催される多くの仲間たちが薬物を使わない生活に導かれています。ところが、この3月、事態は一転しました。新型コロナ

禍によりお借りしていた会場が次々と使えなくなり、ミーティングの開催が不可能になってきたのです。

オンラインによるミーティングにより急場をしのぐことも一部されていますが、一番自助グループを必要とする人たち、刑務所を出所してきたばかりだったり、生活苦から端末やWi-Fi環境を持たないビギナーの人たちにとってハードルの高いシステムなのです。またミーティングが開催されないことによる、孤立やストレスからの薬物の再使用などの話も伝わってきます。薬物依存者はコロナ感染よりも薬物の再使用による死亡リスクの方がずっと高いのです。



私たちは1日でも早く、命綱ともいべきリアルなミーティングが再開されることを、心より待ち望んでいます。（NAナルティグループ M子）

を公禱、聖奠およびその他の諸式に用いることができるとして認許。

- 3つの宣教協働区を置き、協働委員会を設け、運営・宣教・牧会など協働を推進、教区再編を検討すること、教区が伝道教区になること等の法規の一部改正を承認。
- 2022年宣教協議会開催および実行委員会設置を承認。

以上

【社会奉仕部門からのお願ひ】

毎年、諸施設へのクリスマスプレゼント・クリスマスカードにご協力感謝しております。さて、今年はコロナ禍においてプレゼントの購入が難しくなるかもしれませんので、皆さまにお願いする期間を、例年より一週間長い期間設け、11月15日（日）～12月13日（日）にしました。また、高齢者障がい者施設からのお礼は、ご本人が書けない方が多く、職員が負担が増しているのので、各教会に代表のお礼だけにすることにいたしました。お礼を書ける方は出してまいります。ご協力よろしくお願ひいたします。



google マップより

三重伝道区のご紹介

京都教区 代禱をより豊かにするため、京都教区の伝道区を紹介させていただきます。

三重伝道区長 司祭 サムエル 門脇 光禪

名古屋から近鉄で木曾川を渡るとすぐ桑名エビファニー教会、定住者は牧師補江渡由直執事です。特急では次の停車駅四日市、数十年前は四日市喘息で有名な公害の町でしたが現在は夜景がきれいな石油コンビナートの素敵なデートスポットとなっています。

四日市聖アンデレ教会も江渡執事です。近くの菰野町には菰野聖マリア教会（伝道所）管理は古本みさ司祭です。南

下して津聖ヤコブ教会は門脇光禪司祭、来年三重で開催の「とこわか国体」のヨット競技開催地です。西へ名阪国道1時間、忍者で有名な伊賀市にある、上野聖ヨハネ教会（荒木太一管理司祭）があります。そして伊勢神宮外宮そばに牧師岩田光正司祭の伊勢聖マルコ教会があります。

（かどわき・こうぜん 津聖ヤコブ教会牧師）

新礼拝堂竣工と聖別式の報告

大阪聖アンデレ教会 司祭 ヤコブ 義平 雅夫

建築工事中であった大阪聖アンデレ教会は、皆様のお祈り、お支えをいただき、当初の計画通り2020年8月30日（日）に無事竣工し、礼拝（聖餐式）も9月20日（日）よりスタートいたしました。

また10月17日（土）には、アンデレ磯晴久主教によって礼拝堂聖別式が執り行われ、教会信徒と学校関係者、また同窓会やPTA関係者、設計施工にあたった竹中工務店関係者が集い、礼拝堂の聖別と共にたいへん荘厳な聖餐式となりました。

本来であれば、教区の皆さまにご臨席を賜るべきでありましたが、コロナ禍の影響によりやむを得ず教会信徒と学校関係者のみに限定した聖別式となりました。礼拝後の祝会なども中止せざるを得なかったのですが、とくに学校教職員と生徒・同窓会・PTAそして建築施工関係者等、礼拝にはじめて参加される方々

に聖公会の伝統的な礼拝を体験いただき、各方面から感動と喜びの声をいただけたことは、宣教的な面においてもたいへん意味のあることだったと思います。



礼拝堂は平日の昼間に一般の方々にも開放されておりますので、近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。また、主日礼拝にもお越しいただけましたら幸いです。

※住所・電話番号はこれまで通り（聖公会手帳の通り）ですが、FAX番号が変更になりましたのでご注意ください。（変更後FAX 06-6654-3199）

教区の皆さまには、コロナ禍が一定程度落ち着いて段階で、あらためてお披露目のご案内をさせていただきます、ともに完成を祝っていただき、またたいへん嬉しく思います。

（よしひら・まさお 大阪聖アンデレ教会牧師、桃山学院中高チャプレン）

教区の動き

常置委員会報告

10月19日 (第12回定例)

向けて、柳時京司祭とウイ
ソン司祭の対談DVDを各教
会に送付した。

【財政局】大阪聖三一教会
から出ている、教会建替えの
建設資金2千万円の借入れ申
込を了承した。

I. 主教報告 及び諸報告

【大阪聖アンデレ教会の新聖
堂聖別式が10月17日(土)行
われた。

【聖公会生野センターの呉光
現総主事が、韓国の国民勳章
である冬栢章を受章された。

【宣教局】10月18日(日)
のインターナショナルデーに

の申請は合計14名。

II. 協議事項 及び主教諮問

【第125(定期)教区会に常置
委員会から上程される2件に
ついて協議し承認した。

【コロナ禍でのクリスマス期
間の持ち方について主教メッ
セージを出すこととする。

【大韓聖公会から依頼の来て
いるアモスキムドウス司
祭の入国に必要な「雇用契約
予定証明書」を発給すること
とする。

【教区墓地管理委員会】11
月7日(土)の合同埋葬式へ

教区関係教役者

逝去者記念聖餐式

12月9日(水) 午前10時30分～

◇司式者 司祭 ステパノ 柳 時京

◇説教者 司祭 ウィリアムス 竹内 信義

- 1日 宣教師 エディス・イライザ・ソープ (1930 英)
- 2日 主 教 チャニング・ムーア・ウィリアムズ (1910 米)
- 4日 司 祭 テモテ ^{やまもと} 山本 ^{のぼる} 登 (2009)
- 13日 司 祭 ジョン・キャリー・アンブラー (1946 米)
- 16日 司 祭 ^{おがた} 尾形 ^{とらぞう} 虎三 (1945)
- 17日 司 祭 アーサー・ラザフォード・モリス (1912 米)
- 宣教師 エミリー・ビショップ・ボウルトン (1926 英)
- 18日 宣教師 ジェーン・キャスパリ (1888 英)
- 19日 司 祭 ^{こいけ} ダニエル ^{けんじ} 小池 虔二 (2014)
- 22日 伝道師 ^{せいだ} 清田 ^{かいちろう} 海一郎 (1904)
- 司 祭 ^{ちかしげ} 近重 ^{としすみ} 利澄 (1934)
- 27日 司 祭 ヘンリー・レナード・ブレビー (1942 英)
- 28日 伝道師 ^{おおつか} 大塚 ^{これあき} 惟明 (1928)
- 29日 司 祭 マルコ ^{いがき} 伊墻 ^{やつか} 八束 (1978)
- 30日 宣教師 オードリー・M・ヘンティアー (1970 英)

* 教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前
10時30分から、主教座聖堂(川口基督教会)
で行われます。
ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参
加ください。

教会・諸施設の動き

○川口基督教会

去る10月18日(日)に、川
口基督教会の牧師であったヨ
セフ側垣基雄司祭と三光塾の
二代目理事長を務め、当教会
委員であった側垣雄二氏を記
念して、ご一族より記念鐘を
奉献いただき、磯主教の司式
で祝福式を行いました。鐘に
は三光塾のマークと理念を表
す聖句が刻まれています。主
日礼拝だけでなく、教区の
様々な礼拝で鳴らされる鐘で
す。どうぞお覚えください。

祝受按

○川口基督教会

ヘレナ
土井美代子
(10月18日)
アグネス
岩城 麻奈
(10月18日)

祝初陪餐

○石橋聖トマス教会

ミアム
坪田 愛麗
(10月4日)

魂の平安を

祈ります

○川口基督教会

ナタナエル 田中 肇
(10月1日) 91歳

○庄内キリスト教会

マリヤ 堀井多賀子
(10月12日) 67歳

○大阪聖ヨハネ教会

ステパノ 清水 慶三
(10月19日) 73歳

○芦屋聖マルコ教会

ナオミ 久野智恵子
(8月27日) 95歳

○聖贖主教会

マツテヤ 伊藤 昭
(10月19日) 93歳



祝受洗

○川口基督教会

ルカ 岩城未来翔
(10月18日)
ヘレナ 土井美代子
(10月18日)

○聖贖主教会

マグダラのマリア 轟 絢子
(10月25日)